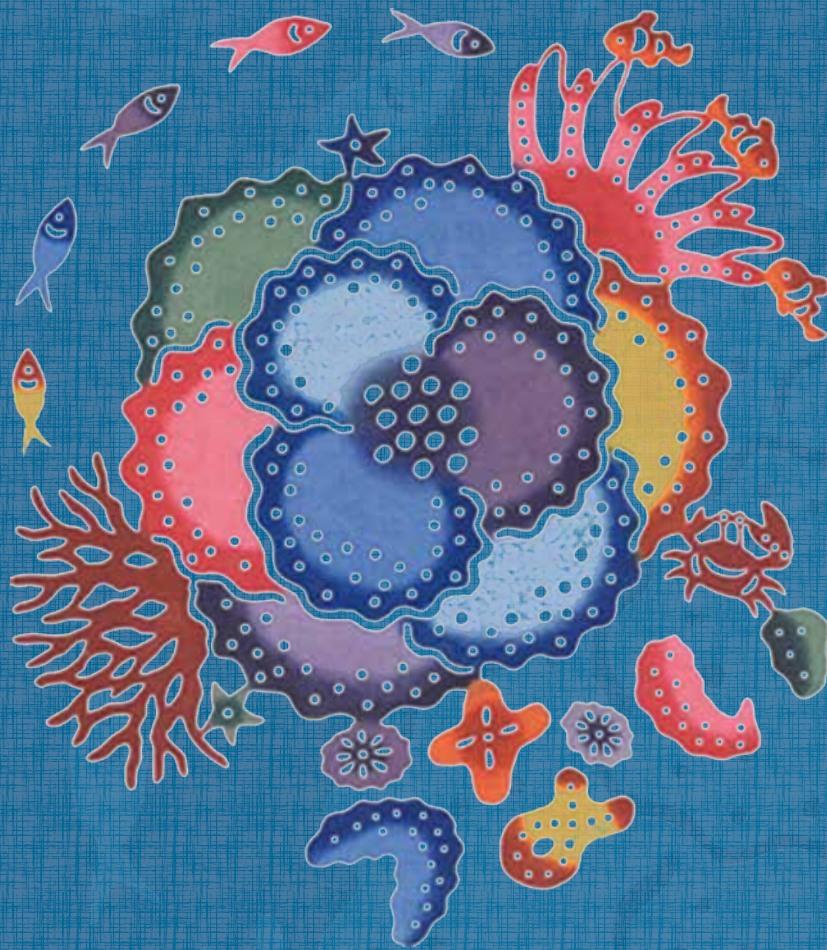


平成 29 年度

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」
事業報告書



国立大学法人 琉球大学
ジェンダー協働推進室
University of the Ryukyus
Gender Equality Promotion Office

男女共同参画の推進について ～アクションプラン～（平成 28 ～ 33 年度）

平成 22 年度に制定された本学の男女共同参画宣言と基本方針、第 3 期中期目標・中期計画をふまえ、本学における男女共同参画の一層の推進を図るため、平成 28 年度から平成 33 年度までの行動計画を下記のとおり策定し、その実現に向け計画的な取り組みを行う。

1. 男女共同参画意識の醸成と情報発信

- ・全学的な意識啓発の推進
- ・HP、ポスター、リーフレット等を活用した情報提供
- ・男女共同参画の取り組みや女性研究者の活躍等の学外への積極的な情報発信
- ・男女共同参画やジェンダー学関連の教育科目等の充実

2. 職場環境の改善・充実

- ・研究に専念できる環境整備の推進
- ・女性研究者支援のための学内予算の確保
- ・スキルアップ支援の積極的な実施
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・柔軟な勤務体制の確立に向けた取り組み
- ・女性比率向上に向けた人事プロセスの確立
- ・相談・支援体制の整備

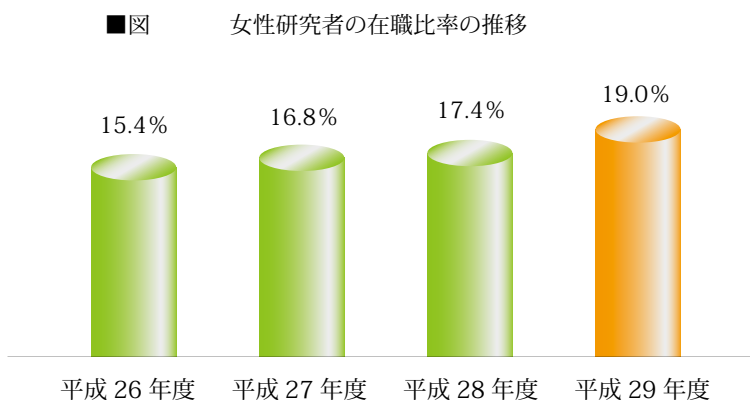
3. 女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取り組み

- ・女性教員在職比率向上に向けた目標値の設定（平成 33 年度末までに 19% 以上）
- ・女性教職員の指導的地位への登用など職位別男女比率を平成 33 年度までに 20% 以上達成
- ・女性研究者のリーダーシップの育成

平成 28 年 8 月 10 日
琉球大学

女性研究者の在職比率

平成 27 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」採択以降、女性研究者の在職比率は着実に上昇しています。



活動報告

平成29(2017)年度

- 4/1 平成29年度病児・病後児保育利用料補助事業 開始
- 4/2 平成29年度育児サポート・サービス利用料補助事業 開始
- 4/10 平成29年度前学期共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」開講
- 4/28 部局長訪問(工学部)
- 5/29-30 Gender Summit 10 Satellite Conference in Okinawa (於:沖縄科学技術大学院大学)
- 6/1 平成29年度第1期研究活動等支援員制度 開始
- 6/12 第1回キャリアデザインフォーラム「夢へのチャレンジ～3つのチャ・チャ・チャ～」開催
- 6/16-20 千原キャンパス保育施設設置に関するWEBアンケート 実施
- 6/19 第2回キャリアデザインフォーラム「企業成長のためのダイバーシティ～りゅうせきネットワークの取組み～」開催
- 6/23 「慰霊の日」託児室開設
- 6/26 第3回キャリアデザインフォーラム「中小企業よもやま話」開催
- 7/3 第4回キャリアデザインフォーラム「<唯一の女性町議会議員>としての仕事」開催
- 7/10 第5回キャリアデザインフォーラム「転職でキャリアの構築」開催
- 7/14 平成28年度女性教員短期研究専念制度(試行)報告会 開催
- 7/15 平成29年度琉球大学オープンキャンパス「理系女子のための自然科学分野紹介」開催
- 7/24 第1期国際学会派遣費用補助事業および英文校閲費用助成事業 実施
- 8/4 第1回ダイバーシティ推進セミナー「ダイバーシティは死活問題～人材多様化の意義と課題」開催
- 8/7 第2回ダイバーシティ推進セミナー「クイアなキャンパスの魅力～性の多様性と大学」開催
- 8/8 第1回スキルアップセミナー「英語でゆんたく～女性研究者のための英語ディスカッションフォーラム～」 「真のプロフェッショナルをめざして」開催
- 8/9 第2回スキルアップセミナー「英語でゆんたく～女性研究者のための英語ディスカッションフォーラム～」 「多様な才能を活かせる職場とは」開催
- 8/9 平成29年度介護婦省費用補助事業(試行)開始
- 8/10 競争的資金獲得セミナー「これなら獲れる!～押さえておくべき科研費採択のポイント」開催
- 9/25 第9回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 福岡「女性リーダー育成と大学の役割」共催(於:福岡女子大学)
- 10/1 ニュースレター「うない通信 Vol.12」発行
- 10/19 育児サポート・サービス利用料補助事業追加支援および追加募集 実施
- 10/23 第2期国際学会派遣費用補助事業および英文校閲費用助成事業 実施
- 11/1 平成29年度第2期研究活動等支援員制度 開始
- 11/24 第3回スキルアップセミナー「英語論文の書き方 Technical Writing in English」開催
- 12/21,27 かなさん介護入門セミナー 連続講座 第1回「家族に介護が必要になったら、どんな制度があるか～介護保険とは～」開催
- 12/25 第4回スキルアップセミナー「アサーティブコミュニケーション ～言いにくいことを伝える方法～」開催
- 1/13-14 「大学入試センター試験」託児室開設
- 1/18,24 かなさん介護入門セミナー 連続講座 第2回「介護保険以外のしくみについて」開催
- 1/23 ダイバーシティ推進トップセミナー「Beyond the Bias and Barriers 無意識の偏見 -Unconscious Bias/アンコンシャス・バイアスを知っていますか?-」開催
- 1/26 第5回スキルアップセミナー「英語論文の書き方 上級編」開催
- 1/27 第6回スキルアップセミナー「英語論文プレゼンテーション」開催
- 2/5 かなさん介護入門セミナー 講演会「備えあれば憂いなし!～今から備える仕事と介護の両立心得～」開催
- 2/15-16 英語で行うリーダーシップ研修「女性研究者のための効果的なコミュニケーション術」開催
- 2/19 中間報告シンポジウム「女性リーダーが活躍する大学を目指して」開催
- 2/22,28 かなさん介護入門セミナー 連続講座 第3回「介護予防について」開催
- 2/25 「一般入試(前期日程)」託児室開設
- 3/14 第3回ダイバーシティ推進セミナー「多様な性の共存のために大学が対応すべきこと」開催
- 3/19 ニュースレター「うない通信 Vol.13」発行
- 3/24-25 サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ Vol.7 開催(沖縄科学技術大学院大学との共催 於:恩納村)

ダイバーシティ研究環境整備のための取組

研究活動等支援員制度

出産・育児または介護等に携わる研究者に対し、研究時間を確保し研究活動の活性化を促進するために、研究補助員を配置する「研究活動等支援員制度」を実施しました。

教育活動及び研究活動を支援する「教育・研究支援」と、研究活動のみを支援する「研究支援」の2種類の支援を設け、「教育・研究支援」ではライフイベントや学内委員会委員、社会貢献・地域貢献等に携わる女性研究者を支援の対象としました。

本制度を利用する教員は、研究支援を行う研究補助員に対し、ワーク・ライフ・バランスを踏まえた自らの研究やキャリア形成を考える手助けとなるよう監督・指導を行い、次世代の研究者育成に努めています。

■ 申請対象者

本学に在職する専任教員、特命教員、特任教員のうち次のいずれかに該当する者。

ただし、本人又は配偶者（※）が産前産後休暇中、育児休業又は介護休業中の場合は除く。

※届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。

（１）【教育・研究支援】

- ①女性研究者で、諸事情（例：ライフイベントや学内委員会委員等、社会貢献・地域貢献等）により研究時間を十分に確保することが困難な方
- ②配偶者が常勤の研究者又は指導的地位（役員や管理職等）である男性研究者のうち、次のアからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方
 - ア 配偶者が妊娠中である方
 - イ 小学校6年生までの子どもを養育している方
 - ウ 要支援または要介護の認定を受けている二親等以内の家族の介護がある方
 - エ その他、上記に準ずる理由がある方（例：難病、障がい者等の家族の介護がある等）
- ③独身の男性研究者で、上記②のイからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方

（２）【研究支援】

- ①女性研究者または配偶者が常勤の研究者である男性研究者のうち、次のアからエのいずれかに該当し、研究時間を十分に確保することが困難である方
 - ア 妊娠中の方、または配偶者が妊娠中である方
 - イ 小学校6年生までの子どもを養育している方
 - ウ 要支援または要介護の認定を受けている二親等以内の家族の介護がある方
 - エ その他、上記に準ずる理由がある方（例えば、難病、障がい者等の家族の介護がある等）

■表 平成29年度研究活動等支援員制度 利用者の内訳（人数）

	第1期		第2期	
	教育・研究	研究	教育・研究	研究
申請数	27(2)		24(1)	
採択数	5(1)	18(1)	5(0)	17(1)
採択総計	23(2)		22(1)	

※（ ）の数字は、内男性

育児サポート・サービス利用料補助事業

本学の教職員の仕事と家庭生活の両立を支援するため、育児支援におけるサポート・サービスを利用する場合の利用料の一部を補助しました。15名（女性教員8名、職員7名）の利用登録があり、この内、6名（女性教員4名、職員2名）の利用がありました。

■ 利用対象者

本学に在職する職員（非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る。）で、配偶者を有する場合は原則として配偶者が就労している場合のほか、配偶者の病気入院等により、育児サポート・サービスを利用しなければ就労することが困難であると認められる方。

ただし、補助事業の対象は要勤務日における利用に限り、産前産後休暇や育児休業等の休暇取得者や休業中の方は除く。また、補助対象可能な時間帯については、要勤務日における午前7時～午後10時までとし、補助対象外となる時間帯及び宿泊の利用については、自己負担とする。

■ 対象となる乳幼児等

- (1) 0歳から小学校3年生までの乳幼児・児童
- (2) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている満18歳に達するまでの子

■ 補助の対象となるサポート・サービス内容

- (1) 保育所、幼稚園、小学校及び放課後児童クラブ等（以下「保育施設等」という。）の保育開始前や、終了後の子どもの預かり
- (2) 保育施設等までの送迎
- (3) 児童が通う学校が休みの時、保育施設等による休み時の子どもの預かり
- (4) 病児・病後児の預かり

※同一家庭以外の複数の乳幼児等を同時に保育する場合は補助対象外とする。

病児・病後児保育利用料補助事業

本学職員の就業及び家庭生活の両立を支援することを目的に、本学に在職する職員が別に定める病児・病後児保育事業を実施している病院等を利用した場合に限り、係る利用料の一部を補助しました。22名（女性教員7名、職員15名）の利用登録があり、この内、9名（女性教員4名、職員5名）の利用がありました。

■ 利用対象者

本学に在職する職員（非常勤職員の場合は社会保険加入者に限る。）で、配偶者を有する場合は原則として配偶者が就労している場合のほか、特段の事情（配偶者の病気入院等）により、病児・病後児保育を利用しなければ就労することが困難であると認められる方。

■ 対象となる乳幼児等

- (1) 0歳から小学校6年生までの乳幼児・児童
- (2) 身体障害者手帳又は療育手帳の交付を受けている満18歳に達するまでの子

※ただし、病児・病後児保育事業を実施している各病院等の規定に準じる。

慰霊の日 託児室開設

本学の教職員の仕事と生活の両立支援として、勤務日における「慰霊の日（6月23日）」に伴う学校休校中の子どもたちをお預かりする一時託児室を設置しました。19名の教職員が利用し、児童26名を受け入れました。

入試時における託児室開設

教職員の就業と家庭生活の両立支援として、「センター試験」、「一般入試（前期日程）」において一時託児室を設置しました。延べ5名の教職員が利用し、児童9名を受け入れました。



女性研究者介護帰省費用補助事業（試行）

平成 29 年度より、「女性研究者介護帰省費用補助事業（試行）」として、本学に在職する女性研究者が介護を目的とした帰省に際して航空券を購入する場合の費用の一部を補助する制度を開始し、5 名が利用しました。

■ 利用対象者

本学に在職する女性研究者（社会保険加入の非常勤職員、日本学術振興会特別研究員（PD または RPD）を含む）で、要介護状態にある家族を介護するため帰省する必要がある方。

配偶者（届け出をしないが、事実上、婚姻関係と同様の事情がある方を含む。）を有する場合は、原則として当該配偶者が有職者である方。各航空会社が提供するいずれかの介護帰省割引制度（以下、「介護帰省割引制度」という。）に登録し、これが適用される方。

■ 補助対象となる範囲

- (1) 申請者の「2 親等以内の親族」が要介護・要支援認定を受けている場合。
- (2) 介護帰省割引制度により航空券を購入、利用した場合。
- (3) 介護帰省割引制度の登録者で介護帰省割引航空券を下回る価格の航空券を購入、利用した場合。
- (4) その他、介護帰省割引制度に準じ、本学において所定の手続きにより必要と認めた場合。
- (5) 那覇空港から発着する各航空会社の路線のうち、介護帰省割引制度に定めた区間に限り、申請者本人の航空券代に対して補助する。

かなさん介護入門セミナー

仕事と介護を両立できる環境の整備及び理解の促進を目的とした介護入門セミナーを実施しました。連続講座には延べ 46 名、講演会には 25 名の教職員が参加しました。

■ かなさん介護入門セミナー 連続講座

講師：百次 由美子 氏（宜野湾市地域包括支援センターふれあい 保健師、ケアマネジャー）

第 1 回「家族に介護が必要になったら、どんな制度があるか～介護保険とは～」

日時：平成 29 年 12 月 21 日（木）、27 日（水）

第 2 回「介護保険以外のしくみについて」

日時：平成 30 年 1 月 18 日（木）、24 日（水）

第 3 回「介護予防について」

日時：平成 30 年 2 月 22 日（木）、28 日（水）



■ かなさん介護入門セミナー 講演会

「備えあれば憂いなし!～今から備える仕事と介護の両立心得～」

講師：太田 差恵子 氏（介護・暮らしジャーナリスト NPO 法人パオッコ理事長）

日時：平成 30 年 2 月 5 日（月）

平成 29 年度インセンティブ経費

公募により女性研究者を採用した部局等にインセンティブ経費を配分し、教育や研究活動の環境整備等に使用されました。

■ インセンティブ経費を配分された部局（採用順）

- ・ 医学部
- ・ 教育学部
- ・ 法文学部
- ・ 国際沖縄研究所

女性研究者の研究力向上のための取組

スキルアップセミナー

英語による研究成果発信の強化やコミュニケーション能力の向上等を目的としたスキルアップセミナーを開催し、延べ 63 名（第 1 回：6 名、第 2 回：8 名、第 3 回：13 名、第 4 回：13 名、第 5 回：12 名、第 6 回：11 名）が参加しました。

■ 第 1 回 “英語でゆんたく～女性研究者のための英語ディスカッションフォーラム～” 「真のプロフェッショナルをめざして」

日時：平成 29 年 8 月 8 日（火）
講師：リア・シゲムラ氏（Enact Leadership）

■ 第 2 回 “英語でゆんたく～女性研究者のための英語ディスカッションフォーラム～” 「多様な才能を活かせる職場とは」

日時：平成 29 年 8 月 9 日（水）
講師：リア・シゲムラ氏（Enact Leadership）

■ 第 3 回 「英語論文の書き方 Technical Writing in English」

日時：平成 29 年 11 月 24 日（金）
講師：小野 義正氏（理化学研究所創発物性科学研究センター）

■ 第 4 回 「アサーティブ コミュニケーション ～言いにくいことを伝える方法～」

日時：平成 29 年 12 月 25 日（月）
講師：日下部 絵美氏（株式会社インソース）

■ 第 5 回 「英語論文の書き方 上級編」

日時：平成 30 年 1 月 26 日（金）
講師：小野 義正氏（理化学研究所創発物性科学研究センター）

■ 第 6 回 「英語論文プレゼンテーション」

日時：平成 30 年 1 月 27 日（土）
講師：小野 義正氏（理化学研究所創発物性科学研究センター）



競争的資金獲得セミナー

本学の教員および研究者を対象に、科研費申請そして採択へのモチベーションアップとスキルアップを図ることを目的に、競争的資金獲得セミナーを開催しました。科研費採択を目指したノウハウやテクニックを学ぶ機会を提供し、11 名が参加しました。

■ 「これなら獲れる!～押さえておくべき科研費採択のポイント」

日時：平成 29 年 8 月 10 日（木）
講師：北川 慶子氏（聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科 教授）



女性教員短期研究専念制度（報告会）

平成 28 年度に実施した、本学以外の教育研究機関等において一定期間研究又は学術調査に専念できる「短期研究専念制度」を利用した先生方による報告会を開催しました。

女性研究者を研究代表者とする共同研究への研究費助成

女性研究者を研究代表者とするグループに対し研究費を助成する「琉球大学女性研究者支援研究費（グループ研究）」において、平成 29 年度は 2 名の女性教員が採択を受けました。

英文校閲費用助成・国際学会派遣費用助成事業

女性研究者のキャリアアップを推進することを目的に、学術雑誌に論文を投稿する際の英文校閲に係る費用および国際学会等で研究成果発表を行うために必要な経費を助成しました。

■ 平成 29 年度採択実績

- ・英文校閲費用助成（上限 5 万円）5 名
- ・国際学会派遣費用助成（上限 15 万円）5 名（内 1 名を復帰支援として採択）

女性研究者の上位職への積極的登用に向けた取組

ダイバーシティ推進セミナー

本学の全教職員を対象に、大学における男女共同参画と女性研究者支援、女性研究者の活躍促進への理解を深めることを目的に、ダイバーシティ推進セミナーを開催しました。全学から延べ60名（第1回：26名、第2回：18名、第3回：16名）の教職員が参加しました。

■ 第1回 「ダイバーシティは死活問題 ～人材多様化の意義と課題」

日時：平成29年8月4日（金）

講師：エイミー・スエヨシ氏（サンフランシスコ州立大学エスニック・スタディーズ学部副学部長）

■ 第2回 「クイアなキャンパスの魅力 ～性の多様性と大学」

日時：平成29年8月7日（月）

講師：ティナ・タケモト氏（カリフォルニア美術大学 准教授）

■ 第3回 「多様な性の共存のために大学が対応すべきこと」

日時：平成30年3月14日（水）

講師：サミ・ネヴァラ氏（FRA 欧州基本権機関統計調査部門 主任）



ダイバーシティ推進トップセミナー

本学の学長や理事、副学長、学部長など大学運営に関わる管理職員を対象にダイバーシティ推進トップセミナーを開催し、30名が参加しました。

■ 「Beyond the Bias and Barriers 無意識の偏見

– Unconscious Bias/ アンコンシャス・バイアスを知っていますか? –

日時：平成30年1月23日（火）

講師：大坪 久子氏（日本大学薬学部薬学研究所 上席研究員）



リーダーシップ研修

本学の女性教員を対象に「英語による女性研究者のためのリーダーシップ研修」を開催しました。

研修では、自らの発信力、相手への対応力、リーダーとしての振る舞い方など、教員として研究者としてリーダーシップが求められる様々な場面で役立つコミュニケーション術を英語で学びました。事前アンケートのデータからわかるリーダーシップの自己診断を元に参加者それぞれが自分を知り、自分の素質を高めるユニークかつ有意義なワークショップが行われ、延べ10名が参加しました。

■ 「女性研究者のための効果的なコミュニケーション術」

日時：平成30年2月15日（木）～16日（金）

講師：エリザベス・ハンドーバー氏（ルミナラーニングジャパン）



中間報告シンポジウム

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」（平成27～32年度）について、事業実施期間の折り返しを迎えたことを機に、これまで3年間の事業実施状況と本学が掲げている数値目標の達成状況等について、学内に報告を行うことを目的に開催し、38名の教職員が参加しました。

■ 中間報告シンポジウム 「女性のリーダーが活躍する大学を目指して」

日時：平成30年2月19日（月）

第1部

・基調講演

「Beyond the Bias and Barriers 無意識の偏見 (Unconscious Bias/ アンコンシャスバイアス) を知っていますか？」
大坪 久子 氏（日本大学薬学部薬学研究所 上席研究員）

・クロストーク

「多様な人材を上位職に登用するためには」
大坪 久子 氏（日本大学薬学部薬学研究所 上席研究員）
ディルワース マチ 氏（沖縄科学技術大学院大学 副学長（男女共同参画・人材育成担当））
花城 梨枝子（琉球大学 理事・副学長（ダイバーシティ推進担当））

第2部

・琉球大学 H27 - H29 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」事業実施報告

喜納 育江（琉球大学ジェンダー協働推進室 室長）

・ディスカッション

「今後の連携・協働による女性研究者支援の推進に向けて
～各大学の取組とコーディネーターの役割～」
山口 眞理 氏（鹿児島大学男女共同参画推進センター コーディネーター）
清水 鈴代 氏（宮崎大学清花アテナ男女共同参画推進室 副室長）
深谷 桃子（琉球大学ジェンダー協働推進室 コーディネーター）



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）

第1部

「Beyond the Bias and Barriers 無意識の偏見 (Unconscious Bias/ アンコンシャスバイアス) を知っていますか？」
大坪 久子 氏
日本大学薬学部薬学研究所 上席研究員

クロストーク
「多様な人材を上位職に登用するためには」
大坪 久子 氏
日本大学薬学部薬学研究所 上席研究員
ディルワース マチ 氏
沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 副学長
(男女共同参画・人材育成担当)
花城 梨枝子
琉球大学理事・副学長 (ダイバーシティ推進担当)

第2部

琉球大学 H27-29「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」事業実施報告
喜納 育江
琉球大学 ジェンダー協働推進室長

ディスカッション
「今後の連携・協働による女性研究者支援の推進に向けて
～各大学の取組とコーディネーターの役割～」
山口 眞理
鹿児島大学 男女共同参画推進センター コーディネーター
清水 鈴代 氏
宮崎大学 清花アテナ男女共同参画推進室 副室長
深谷 桃子
琉球大学 ジェンダー協働推進室 コーディネーター

2018年

2/19 (月)

18:30～16:00

会場 琉球大学 附属図書館 ラーニング・コモンズ (沖縄県中城郡読里町字下里1番地)

対象 本学教職員、研究員、学生ほか関係者 一般(女性活躍推進に興味のある方)

参加費 無料 ※当日参加も可能ですが事前申込にご協力ください。

お問合せ 琉球大学ジェンダー協働推進室
☎ 098-895-8075 ■ gender@to.jmu.u-ryukyuu.ac.jp
📧 <http://www.gender.to.jmu.u-ryukyuu.ac.jp/>

お申込み 女性共同参画推進室ホームページからお申込みください



部局長訪問

ダイバーシティ推進担当理事、ジェンダー協働推進室長及びジェンダー協働推進室メンバーが、工学部長を訪問し、過去の本学女性教員採用比率や女性研究者比率等について分析・データ化した情報を元に説明を行うとともに、本事業の計画及び女性研究者支援策について説明を行い、本学が直面している女性研究者支援に関する課題について認識の共有を図りました。

■ 工学部

日時：平成29年4月28日（金）

裾野拡大、地域・産官学との連携

キャリアデザインフォーラム

「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）事業」（COC 地＜知＞の拠点整備事業）の一環として、沖縄県内で活躍される女性リーダーを講師として招聘し、「キャリアデザインフォーラム 2017 ～「仕事」とは？「やりがい」とは？ 地域社会で活躍する女性たちから学ぼう～」を開催しました。

- 「夢へのプロセス～3つのチャ・チャ・チャ～」
日時：平成 29 年 6 月 12 日（月）
講師：豊川 明佳氏（有限会社インターリンク沖縄 専務取締役）
- 「企業成長のためのダイバーシティ ～りゅうせきネットワークの取組み～」
日時：平成 29 年 6 月 19 日（月）
講師：名嘉村 裕子氏（株式会社りゅうせきビジネスサービス 代表取締役社長）
- 「中小企業よもやま話」
日時：平成 29 年 6 月 26 日（月）
講師：前田 貴子氏（株式会社ゆがふホールディングス 代表取締役専務）
- 「＜唯一の女性町議会議員＞としての仕事」
日時：平成 29 年 7 月 3 日（月）
講師：仲村 広美氏（金武町議会議員）
- 「転職でキャリアの構築」
日時：平成 29 年 7 月 10 日（月）
講師：水越 晶子氏（沖縄科学技術大学院大学施設管理ディビジョン
ディビジョンアドミニストレータおよびエグゼクティブアシスタント）



共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」

平成 29 年度前学期共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」を開講しました。本学の様々な分野の女性教員や地域で活躍する多彩な方々によるオムニバス形式の講義で、65 名の学生が受講しました。

第 1 回	4 月 10 日	喜納 育江（法文学部 教授）	序論 キャリアデザインとジェンダー
第 2 回	4 月 17 日	喜納 育江（法文学部 教授）	キャリアを通して見えてきたもの
第 3 回	4 月 24 日	保坂 雅子（グローバル教育支援機構 准教授）	職場としての大学
第 4 回	5 月 1 日	野入 直美（法文学部総合社会システム学科 准教授）	仕事としての研究
第 5 回	5 月 8 日	小西 照子（農学部亜熱帯生物資源科学科 准教授）	海藻のちから
第 6 回	5 月 15 日	大湾 知子（医学部保健学科 准教授）	＜排尿ケアチーム＞新設における多職種の連携
第 7 回	5 月 22 日	藤田 陽子（国際沖縄研究所 所長・教授）	仕事をするということ
第 8 回	5 月 29 日	矢野 恵美（法務研究科 教授）	ロースクール教員・刑事法研究者という仕事
第 9 回	6 月 5 日	保坂 雅子（グローバル教育支援機構 准教授）	多様性がある職場で働くとは
第 10 回	6 月 12 日	豊川 明佳（有限会社インターリンク沖縄 専務取締役）	夢へのプロセス ～3つのチャ・チャ・チャ～
第 11 回	6 月 19 日	名嘉村 裕子 （株式会社りゅうせきビジネスサービス 代表取締役社長）	企業成長のためのダイバーシティ ～りゅうせきネットワークの取組み～
第 12 回	6 月 26 日	前田 貴子 （株式会社ゆがふホールディングス 代表取締役専務）	中小企業よもやま話
第 13 回	7 月 3 日	仲村 広美（金武町議会議員）	＜唯一の女性町議会議員＞としての仕事
第 14 回	7 月 10 日	水越 晶子（沖縄科学技術大学院大学施設管理ディビジョン ディビジョンアドミニストレータおよびエグゼクティブアシスタント）	転職でキャリアの構築
第 15 回	7 月 24 日	喜納 育江（法文学部 教授）	キャリアアップとワーク・ライフ・バランス

女子中高生理系進路選択支援事業

次世代を担う理系進学に関心のある女子高校生を主な対象に、科学に対する興味を深め、将来の進路選択の一助となるよう、研究者による講演・実験や女子学生を交えた交流会等を行い、延べ30名が参加しました。

■ オープンキャンパス「理系女子のための自然科学分野紹介」

日時：平成29年7月15日（土）

会場：琉球大学工学部

講師：國田 樹（琉球大学工学部 助教）

■ サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ Vol.7

日時：平成30年3月24日（土）～25日（日）

会場：沖縄科学技術大学院大学

講師：ゲイル・トリップ（沖縄科学技術大学院大学発達神経生物学ユニット 教授）

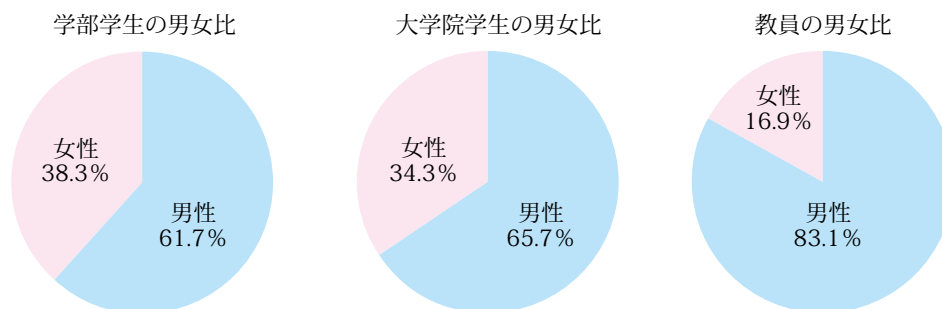
岡本 牧子（琉球大学教育学部 准教授）



数値でみる琉球大学

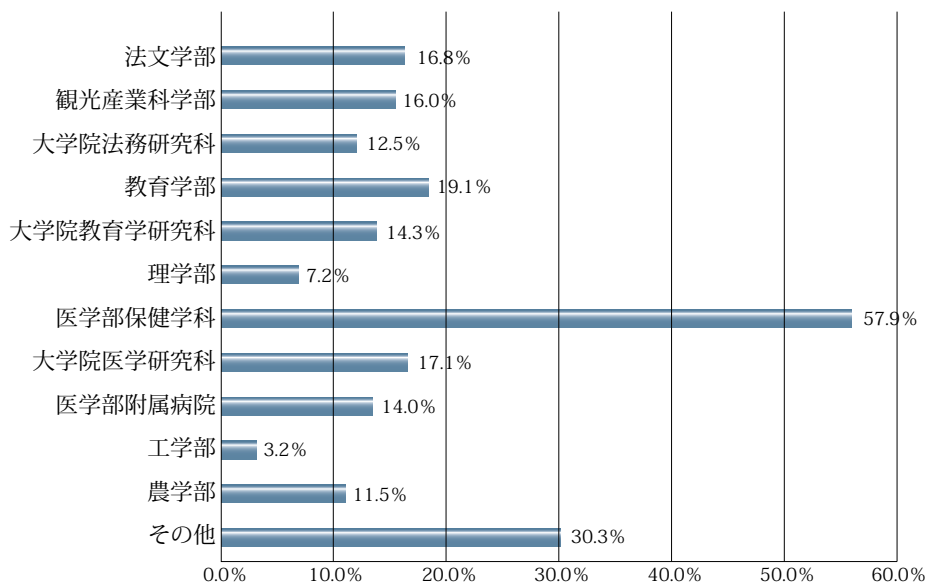
学生・教員の男女比率（学部学生・大学院学生・教員）

■ 図 琉球大学の男女比（学部学生、大学院学生、教員）／出典：平成29年度学校基本調査



部局別女性教員の在職比率

■ 図 琉球大学の学部・研究科別女性教員の比率（平成29年5月1日現在）



国立大学法人 琉球大学
ジェンダー協働推進室

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地

TEL 098-895-8675 FAX 098-895-8760

Email gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

<http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/>

平成 30 年 8 月発行

